

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分	原材料名	原産国	含有区分	文憑	症例	適正使用期間	感染経路	出典	概要
209	2008/05/30	80209	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有	無	無	レンサ球菌感染	第56回日本感染症学会東日本地方会総会、第54回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会 2007年10月26-27日	80208に同じ
210	2008/05/30	80210	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌荚膜ポリサッカライド	肺炎球菌荚膜	米国	有効成分	無	無	無			
211	2008/06/04	80211	メルクセロノ	精製下垂体性腺刺激ホルモン	精製下垂体性腺刺激ホルモン	人尿	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2007年12月4日	中国におけるトリインフルエンザの状況(update4): 2007年12月4日、中国保健省はH5N1トリインフルエンザウイルスの新規のヒト感染症例を報告した。症例はJiangsu省の24才の男性で、12月2日に死亡した。中国での確定例は26例で、うち17例が死亡している。
												鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2007年12月9日	中国におけるトリインフルエンザの状況(update5): 2007年12月9日、中国保健省は同ウイルスの新規ヒト感染症例を報告した。Jiangsu省の52才の男性で、12月2日に同ウイルス感染で死亡した24才男性の父親で、現在入院中である。中国での確定例は27例で、うち17例が死亡している。
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20080218.0656	2008年2月18日に中国保健省はHunan省でヒトでのトリインフルエンザ症例1例を確認したと発表した。症例は22才の男性で、1月16日に発症し、1月24日に死亡した。中国CDCはH5N1陽性であることを確認した。
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20080221.0710	2008年2月21日、中国保健省は29例目のH5N1トリインフルエンザ症例/19例目の死亡例を確認した。Guangxi Zhuang自治区Nanning Cityにおいて41才男性が2008年2月20日に死亡し、H5N1検査に陽性であった。2月18日にはHunan省でヒトでのトリインフルエンザ死亡症例1例を確認しており、今月2例目のトリインフルエンザ死亡例である。

ID	受理日	番号	報告者名	姓 名	生 物 学 的 分 類	報告地名	原産国	合 計 区 分	文 部	症 例	追加 情報 提供	感染症ID	出典	概要
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20080225.0758	WHOは中国でヒトにおけるトリインフルエンザの29例目の症例および死亡19例目を確認した。また、2008年2月25日に香港政府は、中国南部Guangdong省の44才の女性がH5N1トリインフルエンザウイルスに感染していることが疑われていると報告した。この症例は同年2月16日に発症したが、診断はまだ確定されていない。中国における30例目のトリインフルエンザ疑い症例である。
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20080226.0784	中国南部Guangdong省の44才の女性がH5N1トリインフルエンザウイルスに感染し、死亡した。病気の家禽から感染したと思われる。中国で確認された30例目の症例／20例目の死亡例である。
												感染	ProMED-mail20071124.3799	中国HankouのJiayuanの保育園の同じクラスの生徒約20例が原因不明の疾患を発症した。2007年11月19日から発症し、口腔内潰瘍、発疹および微熱の症状を呈した。
												ブルセラ症	ProMED-mail20071206.3936	中国保健省は2007年12月3日に、中国でのヒトにおけるブルセラ症の増加は継続しており、Heilongjiangにおける症例数が特に多いと述べた。保健省の統計によると中国のヒトにおけるブルセラ症の防止および管理は重大な状況にあり、ウシおよびヒツジ生産地域における発生は重大な懸念である。
												ベスト	ProMED-mail20071212.3998	中国保健省は2007年12月10日、2007年11月にGansu省が2例目のベスト症例を報告したと発表した。患者は死亡した。Gansu省では2007年9月に中国で初めてのベスト症例が報告された。
												細菌感染	ProMED-mail20071231.4200	2007年12月29日に中国KaohsiungのLiang Jen病院からHualienのYuli sanatoriumへ移された患者9例の血液に高濃度のEntamoeba histolytica抗体が確認され、検査でこの9例のうち3例において感染が示された。Liang Jen病院の消毒および患者の検査が実施され、14例がアメーバ赤痢感染が疑われている。
												デング熱ウイルス感染	ProMED-mail20080109.0106	台湾CDCは2007年12月28日および30日にデング熱の輸入症例2例を検査により特定した。この2例はいずれもインドネシア人で各々、12月20日および27日に発症した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来品 有/無	原材料名	原産国	含有区	添加物	有	無	無	通 正 使 用 部 位	感染症(P)	出典	概要
														チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail20080428.1470	台湾Taoyuan都保健省は2008年4月23日、北部で今年初めてのチクングニヤ熱症例を確認した。患者は58歳の台湾人ビジネスマンで、2008年の3月26日から4月9日に上海、4月9日から19日にジャカルタに旅行した。
														ハンタウイルス	ProMED-mail20080119.0249	台湾保健局は2008年1月11日、今年初めてのハンタウイルス出血熱症例を発表した。台湾の46歳のビジネスマンで、中国の内モンゴルへ頻りに旅行しており、先月内モンゴルで震にかかったラットを処分するときにラットに接触していた。
														細菌感染	ProMED-mail20080409.1305	香港保健センターは2008年で1例目のコレラ症例を確定した。Wong Tai Sin地区の26歳の女性である。2008年3月29日から4月2日フィリピンへ旅行し、下痢、腹痛、眩暈および嘔吐の症状を呈した。患者はコレラ菌Ogawa型陽性であった。
														E型肝炎	ProMED-mail20080415.1358	香港保健センターは2008年4月14日、E型肝炎感染に対する警告を発し、食物、環境衛生を厳密に観察するよう呼びかけた。最近、E型肝炎感染頻度が増加しているのに対して行われた。
212	2008/06/04	80212	メルクセローノ	精製下垂体性腺刺激ホルモン	乳糖	ウシ	英国及びポルトガルを除く	添加物	有	無	無			結核	ProMED-mail20071111.3664	Canadian Food Inspection AgencyはBritish Columbiaの飼育場でウシ結核が発見されたとのPrince George Citizenの報告を受けて、AlbertaおよびBritish Columbia における約30件の飼育場の検疫を行った。
														結核	ProMED-mail20071202.3884	Vanderhoofの農場にいた雄ウシにおいてウシ結核が発見された後(2007年8月に確認された)、カナダBritish ColumbiaおよびAlbertaの30を超える農場が検疫中である。今までのところ、当該牛に直接接した221頭のウシが処分された。
														結核	ProMED-mail20080123.0285	米国Minnesota Board of Animal Healthは本日(2008年1月22日)、Roseau郡の食用ウシの群れがウシ結核検査に対して陽性であったと発表した。新しく検出されたRoseauの群れは2005年と2006年の検査では陰性であったが、2007年11月の検査で1頭がウシ結核の疑いとなり、先週ウシ結核と確定された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物学的分類	原料品名	原産国	含有区分	対象動物	適正飼育	発生年(月)	出典	概要
											結核	ProMED-mail20080202.0429	米国California州Fresno郡においてウシの群れがウシ結核に罹患していると2008年2月1日にCalifornia農業当局が述べた。ウシ5頭が検査陽性であった。前回、Californiaでウシ結核が検出されたのは2003年である。
											結核	ProMED-mail20080205.0472	Minnesota動物保健局は本日(2008年2月4日)、Roseauのcattle operationからのウシにおけるウシ結核検査陽性を発表した。Minnesotaにおいてウシ結核が検出されたウシの群れは10件となった。
											BSE	ProMED-mail20071218.4076	Canadian Food Inspection Agency(CFIA)は、カナダAlbertaの13才の食用用雌牛が牛海綿状脳症(BSE)であることを確定診断した。
											BSE	ProMED-mail20080229.0831	Canadian Food Inspection Agencyは本日(2008年2月26日)ウェブサイト上で、Albertaの6才の乳牛が12頭目のBSEであることを確認したと発表した。このウシは狂牛病拡大防止のための飼料成分禁止措置が取られた約5年後に生まれた。
											炭疽	ProMED-mail20071228.4168	オーストラリア1次産業局はUpper Hunterで炭疽により死亡したウシは12頭で、20頭近くが死亡したと考えられると述べた。疾病は5農場に拡大している。
											炭疽	ProMED-mail20071231.4193	オーストラリアNew South WalesのUpper Hunter Valleyにおける炭疽のアウトブレイクにより、ウシ30頭以上およびウマ1頭が死亡した。状況は悪化しつつあり、2007年12月29-30日には更に3頭の死亡が報告されている。アウトブレイクは9農場に拡大している。
											炭疽	ProMED-mail20080102.0015	オーストラリアNew South WalesのUpper Hunter で更にウシ3頭が死亡したが、これは既に隔離されている農場で発生した。現在、炭疽によりウシ35頭が死亡している。
											炭疽	ProMED-mail20080103.0032	オーストラリアNew South WalesのUpper Hunter では検査陽性のウシが更に確認され、計9農場が隔離されている。2008年1月2日の当局発表によると、炭疽により36頭が死亡している。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料剤名	原産国	含有区分	火飲	錠剤	適正使用期間	感染症(PZ)	出典	概要
												炭疽	ProMED-mail20080105.0061	2007年12月中に、オーストラリアNew South WalesのUpper Hunter Valley貯水池内のScone地区9農場で炭疽が確認された。隔離措置、死体焼却およびワクチン接種が実施された。同地区では症例発見のためのサーベイランスが強化されている。
												炭疽	ProMED-mail20080116.0205	オーストラリアNew South WalesのRouchel地区では、炭疽による死亡のピークは2007年のクリスマス時期であったが、現在は徐々に減少している。最後の死亡例は2008年1月2日に確認された。炭疽により計50頭が死亡し、11農場が隔離されている。
												炭疽	ProMED-mail20080122.0265	オーストラリアVictoriaのGoulburn Valleyの農場で雄牛1頭が炭疽のため死亡した。該当牛は2007年2月に炭疽のアウトブレイクが起こった農場出身であった。農場は隔離され、付近の農場のウシはワクチン接種された。
												炭疽	ProMED-mail20080423.1431	米国Minnesota州のBecker郡の農場でウシ2頭が炭疽で死亡した。同州における2008年で初めての炭疽事例である。
												ブルセラ症	ProMED-mail20080202.0427	米国農務省は2008年2月1日にTexas州はウシのブルセラ症フリー資格を獲得したと発表した。同州のウシ生産者は50年近く、ブルセラ症と闘ってきた。
												狂犬病	ProMED-mail20080401.1199	乳牛2頭が狂犬病陽性であったのを受け、米国West Virginia州Hampshireのウシの群れが隔離された。狂犬病の兆候は示していないが、6名のヒトが予防措置的に狂犬病の治療を受けている。
213	2008/06/04	80213	メルクセローノ	精製下垂体性腺刺激ホルモン	抗FSHマウスモノクローナル抗体	マウス	イタリア	製造工程	無	無	無			
214	2008/06/04	80214	メルクセローノ	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	人尿	韓国	有効成分	無	無	無			
215	2008/06/04	80215	メルクセローノ	下垂体性腺刺激ホルモン	下垂体性腺刺激ホルモン	人尿	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2007年12月4日	80211に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料名	製造国	自治区分	大分	近所	適正 使用 期限	感染症(P)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2007年 12月9日	80211に同じ
												鳥インフルエンザ	ProMED- mail20080218.0656	80211に同じ
												鳥インフルエンザ	ProMED- mail20080221.0710	80211に同じ
												鳥インフルエンザ	ProMED- mail20080225.0758	80211に同じ
												鳥インフルエンザ	ProMED- mail20080226.0784	80211に同じ
												感染	ProMED- mail20071124.3799	80211に同じ
												ブルセラ症	ProMED- mail20071206.3936	80211に同じ
												ペスト	ProMED- mail20071212.3998	80211に同じ
												細菌感染	ProMED- mail20071231.4200	80211に同じ
												チクングニヤウ イルス感染	ProMED- mail20080109.0106	80211に同じ
												チクングニヤウ イルス感染	ProMED- mail20080428.1470	80211に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分	原料種名	原産国	含有成分	文相	性状	適正 使用 範囲	感染症等	出典	概要
												ハンタウイルス	ProMED-mail20080119.0249	80211に同じ
												細菌感染	ProMED-mail20080409.1305	80211に同じ
												E型肝炎	ProMED-mail20080415.1358	80211に同じ
216	2008/06/04	80216	メルクセローノ	下垂体性性腺刺激ホルモン	乳糖	ウシ	英国及びポルトガルを除く	添加物	有	無	無	結核	ProMED-mail20071111.3664	80212に同じ
												結核	ProMED-mail20071202.3884	80212に同じ
												結核	ProMED-mail20080123.0285	80212に同じ
												結核	ProMED-mail20080202.0429	80212に同じ
												結核	ProMED-mail20080205.0472	80212に同じ
												BSE	ProMED-mail20071218.4076	80212に同じ
												BSE	ProMED-mail20080229.0831	80212に同じ
												炭疽	ProMED-mail20071229.4168	80212に同じ
												炭疽	ProMED-mail20071231.4193	80212に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来品	原材料名	製造国	含有成分	文書	症例	血液 使用 検査	臨床症(P)	出典	概要
												炭疽	ProMED- mail20080102.0015	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080103.0032	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080105.0061	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080116.0205	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080122.0265	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080423.1431	80212に同じ
												ブルセラ症	ProMED- mail20080202.0427	80212に同じ
												狂犬病	ProMED- mail20080401.1199	80212に同じ
217	2008/06/04	80217	メルクセ ローノ	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血 清	ウシ胎児血液	①マスター セルバンク (不明)、 ②ワーキン グセルバン ク(米国)	製造工程	有	無	無	結核	ProMED- mail20071111.3664	80212に同じ
												結核	ProMED- mail20071202.3884	80212に同じ
												結核	ProMED- mail20080123.0285	80212に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料名	原産国	含有区分	文庫	症例	追加 使用 注意	感染症ID	出典	概要
												結核	ProMED- mail20080202.0429	80212に同じ
												結核	ProMED- mail20080205.0472	80212に同じ
												BSE	ProMED- mail20071218.4076	80212に同じ
												BSE	ProMED- mail20080229.0831	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20071229.4168	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20071231.4193	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080102.0015	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080103.0032	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080105.0061	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080116.0205	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080122.0265	80212に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080423.1431	80212に同じ